

- ◇新型コロナウイルス対策のためのマスク生活が始まってから3年が経過しています。ようやく3月13日からマスク着用が緩和されますが、気が付けば若手教員や学生の素顔をよく知らないという不思議な状況に慣れてしまいました。この3年間で学んだことはマスク着用の有無で顔の印象が変わるということであり、ヒトの印象を決めるのは目や瞳であるといったこれまでの定説が覆るかもしれない勝手に思い込んでいます。待望のマスク着用緩和であるものの、花粉症という巨大な敵を前にして、マスクを外す勇気が持てない私がいいます。富山の討論会までには、花粉の飛散も落ち着き、悲惨な状況から脱していることを願うばかりです。
- ◇新学期の準備をしなければいけない時期に差し迫ってきました。小椋先生がご執筆されたリレーエッセイの冒頭から、ふと講義の受講者名簿を見ると、毎年のように氏名の読みに戸惑っている自分を想像してしまいました。とはいえ、自分の姓にも戸惑いがあり、ふりがなをどう振るのが正解なのか、いまだにわかりません。
- ◇研究者は、成果が求められる一方、様々な業務に追われています。そのような中でも、私は「楽しく研究する」をモットーに日々を過ごすという、いわば研究者の原点に立ち返ることを意識しています。渡慶次先生がとびらで提言されているように、短期的な成果をあまり求めずに時間をかけて「研究ができる環境」が実現されるのを願うばかりです。学生に、アカデミア研究者＝ブラックとは言わせない？

[A. S.]

〈とびら〉

SDGsにつながるサステナビリティ活動と

“分析”の果たす役割について……………駒谷 慎太郎

〈入門講座〉 分離技術：原理から最新技術まで

液体クロマトグラフィー (1)……………渋川 雅美

〈解 説〉

圧力を視る：力学刺激に応答する

化学センサーの開発……………若子 綜思, 福原 学

〈ミニファイル〉 マイクロ・ナノの分析化学

ナノ構造を用いたバイオ分析……………遠藤 達朗

〈話 題〉

匂い成分の分析～MSを添えて～……………内村 智博

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 勝田正一 (千葉大院理)	東海林 敦 (東京薬科大薬)	菅 寿美 (海洋研究開発機構)
〈副委員長〉 菅沼こと (帝人 株)	村居景太 (株共立理化学研究所)	
〈理事〉 津越敬寿 (産業技術総合研究所)	稲川有徳 (宇都宮大院地域創生科学)	岩井貴弘 (株日立製作所)
〈幹事〉 坂牧寛 (化学物質評価研究機構)	齊藤和憲 (日本大学生産工)	高橋あかね (オルガノ 株)
富岡賢一 (三菱マテリアル株)	谷合哲行 (千葉工業大先進工)	照井教文 (一関高専)
〈委員〉 市場有子 (ライオン 株)	中原佳夫 (和歌山大システム工)	野間誠司 (佐賀大農)
岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	堀田弘樹 (神戸大院海事科学)	松神秀徳 (国立環境研究所)
田中佑樹 (千葉大院薬)	宮下振一 (産業技術総合研究所)	森 勝伸 (高知大理工)
永谷広久 (金沢大院自然科学)	山崎由貴 (国立医薬品食品衛生研)	
福島健 (東邦大薬)		
三浦篤志 (北大院理)		
森山孝男 (株リガク)		

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願い等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2023年 第3号 (通巻579)

2023年3月1日印刷

2023年3月5日発行

定価1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572

振替口座: 00110-8-180512

© 2023, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。